

南丹圏地域リハビリテーション支援センター
令和六年度 第四回 事例検討会

「南丹圏域における

訪問リハビリテーションへの期待」

会場…京都中部総合医療センター
第二病棟五階講堂（ハイブリッド開催）

開催日時

3月10日 月

13時30分

～15時15分

在宅医療とは、いつまでも住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるように、療養者の日常生活を支える医療であり、訪問リハビリテーションはその重要な要素のひとつです。

少ない資源においても、関係者相互の理解をもとに、連携を強化していくことが訪問リハの充実に繋がると考えます。

今回の事例検討会では、5名のパネリストからそれぞれの立場でお話をいただき、連携強化に向けての議論を深めたいと思います。

【パネリスト】

京都中部総合医療センター 理学療法士 高位篤史氏

メディケア・リハビリ訪問看護ステーション 亀岡 作業療法士 見吉一輝氏

南丹地域包括支援センター 看護師 中斎直見氏

亀岡市川東地域包括支援センター 主任介護支援専門員 木内沙織氏

京都府歯科衛生士会 丹波支部 歯科衛生士 茨木あゆみ氏

【コメンテーター】

明治国際医療大学附属病院

外科・在宅診療部長 神山順 先生

申込締切 3/7

参加対象：医療・介護・福祉に関わる
全ての職種の方

参加費：無料

参加方法：下記QRコードよりお申込みいただくか、
Email・FAXにてご連絡ください。

お申し込みは
こちらから



ぜひお気軽にご参加ください。



【お問い合わせ先】

京都中部総合医療センター リハビリテーション科内
南丹圏域地域リハビリテーション支援センター
TEL: 0771-42-2510 (代) FAX: 0771-42-2528
Email: rehashien@kyoto-chubumedc.or.jp
担当：谷本